越後 鉛製釣具の販売本格化

地金生産能力5割増

大規模改修を施した本社工場

【名古屋】鉛二次精錬及び非鉄原料流通の越後（本社＝名古屋市南区、越後征紀社長）は、国内釣具メーカーと連携し、鉛製釣具の販売を本格化した。2016年1月に初出荷を行い、今春から本格生産をスタート。それに伴い、本社工場の増築及び大規模改修を実施し、このほど完工した。鉛地金の生産能力を増強するとともに、環境対応力を引き上げた。

本社工場増築が完了

同社では鉛精錬事業の付加価値向上を目的に、従来の鉛地金販売だけでなく、鉛製品の供給を本格化することを決めた。その一環として釣具メーカーと連携し、鉛製釣具製品の製造に向けた取り組みを16年上期から手掛けてきた。

それと同時に老朽化が進んでいた本社工場の建屋更新に加え、製品事業開始に伴い作業スペースを拡大する必要があったことから、本社工場の増強工事を16年に着工し、同年末に増築部分の建設を終え、このほど全体の工事を終えた。

増築した建屋は3階建で構造で、1・2階部分は吹き抜けとなっており、そこに更新した溶解炉を設置し、独自仕様の集塵機も完備した。ヤード内はコンクリートで完全舗装し、溶解炉周辺は厚めの鉄板を敷いて補強。工具等も使いやすさを重視し、壁に掛けすぐに手に取れるスタイルを採用した。事務所棟もリフォームを施し、事務作業の効率化と職場環境の改善につなげた。

今回の大規模リニューアルで、鉛地金の生産能力は従来比50％増となる月間40トンレベルまで拡大。また、本格生産を開始した製品製造は女性や高齢者でも対応できることから、パートなどの採用を増やし、対応力を高めた。今後は製品販売の比率拡大に努めていくとともに、鉛地金の安定供給とスクラップの安定集荷を進めていくことで、引き続き安定した事業運営を推進していく方針だ。

アルミ二次合金価格交渉 横ばいから安値寄り

5月積み

アルミ二次合金メーカーとダイカストメーカーなどの需要家との間で行われている、5月積み小口向けアルミ二次合金価格交渉（単月、後決め）が大詰めを迎えている。競合する輸入塊の割安感などを弱材料に、一部横ばいからやや値を落とす展開で推移しているとの見方が支配的だ。

主原料のアルミスクラップは4月後半にやや値を落としたが、5月中は底堅く推移している。その一方、原料でもロシア産ベースメタルは需給緩和を背景にオファー価格がドルベースで下落。それを受け、国内ベースメタルも値を崩している。加えて、輸入塊も国内塊と比較して割安感が生じているため、需要家各社は値下げを要請している。

足元の溶湯単価が高値圏を維持しているため、合金各社は「価格を下げられる状況ではない」と激しく抵抗しているもよう。だが、輸入塊と競合するケースなどを中心に1―2円ほど安値に寄っているとの声が聞かれる。今週中には大勢が判明する見込み。

マーケットを読む Market Analysis Trends マンスリー・ビュー 6月

銅 材料不足、5400―5900ドルでこう着

住友金属鉱山 金属事業本部銅・貴金属営業部長 武本 拓也氏

LME銅相場は、足元のトン5400―5900ドル水準でこう着状態と予想する。唯一の波乱要因は世界第2位のインドネシア・グラスベルグ銅鉱山のスト動向だが、仮に長引いても、首位のチリ・エスコンディダ銅鉱山の生産障害も重なった2月ほどの影響度ではないだろうと現状みる。

6月単月では他の目立つ相場材料に欠ける。米トランプ政策への市場の期待感は薄れており、直近のOPEC（石油輸出国機構）総会の合意も、僅品の原油相場にはノーサプライズだった。中国の地金実需は堅調とみるが、LME相場を刺激するほどではない。世界需給のタイト感もまだ顕在化しておらず、大台6000ドルを超える状況ではない。

アルミ 1800―2000ドル、中国需給緩み上値重い

みずほ銀行デリバティブ営業部コモディティ市場営業チーム調査役 吉田 朋哉氏

LMEのアルミ3カ月物は、年内トン1800―2000ドルを予想する。中国で需給の緩みが多少感じられるため、2000ドル超えのイメージはわきづらい。

例年、全国人民代表大会（全人代）を終えてからの中国の経済指標は、弱い数字が出てきやすいとの印象を持つ。4月の製造業購買担当者景気指数（PMI）は、6カ月ぶりの低水準となっており、アルミ需要の減退が意識されるようだと、1800ドル割れの局面もありそうだ。

ただ、1800ドル付近では買い戻されやすいだろう。中国から、冬季に生産の一部を削減するといった話もある。テクニカル的に見ても、100日移動平均線がずっと下値抵抗線になっている。

サッシ協会とカ防協が総会 懇親会に320人参加

日本サッシ協会とカーテンウォール・防火開口部協会（カ防協）は30日、東京・元赤坂の明治記念館で定時総会と理事会を開催した。引き続き行われた懇親会には会員各社や省庁関係者など約320人が出席。白井春雄・サッシ協会理事長兼カ防協会長（LIXILグループ執行役副社長）があいさつし「新築住宅着工件数の減少に対して、製品の高機能化やリフォーム需要の掘り起こしを行い、業界発展に向けて活動していく」などと話した。またサッシ協会が2017年度中に「中長期ビジョン検討プロジェクト」を設置し、今後協会が担う活動について検討することも明らかにした。

来賓としてあいさつした国土交通省の由木文彦・住宅局長は「16年度の新設住宅着工戸数は約97万4000戸で、消費増税の影響をようやく脱した。4月の着工戸数も引き続き堅調で、年率換算すると100万戸超になる」とした上で「人口・世帯数とも右肩下がりの傾向を示している」として、長期的には着工戸数も減少する可能性があると指摘。「私たちとしてはできるだけストック（中古住宅）を有効活用する社会を目指したいと思っている。（サッシ協会の）ビジョンではそうした方向での検討もぜひお願いしたい」と話した。木製・樹脂製サッシ窓の防耐火性能について、個別に大臣認定を取得する必要がある現在の仕組みについても触れ「改善のために両協会にもご協力いただいた。FIX窓（開閉できない窓）はデーター・ウォール・防火開口部協会（カ防協）は30日、東京・元赤坂の明治記念館で定時総会と理事会を開催した。引き続き行われた懇親会には会員各社や省庁関係者など約320人が出席。白井春雄・サッシ協会理事長兼カ防協会長（LIXILグループ執行役副社長）があいさつし「新築住宅着工件数の減少に対して、製品の高機能化やリフォーム需要の掘り起こしを行い、業界発展に向けて活動していく」などと話した。またサッシ協会が2017年度中に「中長期ビジョン検討プロジェクト」を設置し、今後協会が担う活動について検討することも明らかにした。

来賓としてあいさつした国土交通省の由木文彦・住宅局長は「16年度の新設住宅着工戸数は約97万4000戸で、消費増税の影響をようやく脱した。4月の着工戸数も引き続き堅調で、年率換算すると100万戸超になる」とした上で「人口・世帯数とも右肩下がりの傾向を示している」として、長期的には着工戸数も減少する可能性があると指摘。「私たちとしてはできるだけストック（中古住宅）を有効活用する社会を目指したいと思っている。（サッシ協会の）ビジョンではそうした方向での検討もぜひお願いしたい」と話した。木製・樹脂製サッシ窓の防耐火性能について、個別に大臣認定を取得する必要がある現在の仕組みについても触れ「改善のために両協会にもご協力いただいた。FIX窓（開閉できない窓）はデータをそろえていただき、中身の検討がほぼ終了した。今後できる限り早く告示化に向けての作業を進めていきたい。一方、引き違い窓や滑り出し窓にはなお課題があり、引き続き調査を進めていきたいので、ご協力をお願いしたい。これらの窓についても早く告示化ができれば良いと思っているなどと述べた。

あいさつする白井理事長

続いて経済産業省の審議官があいさつ。省エネ性能の高いサッシなどの普及拡大や断熱リフォーム市場の拡大を目指す経産省の政策についてあらためて説明した。協力会社への支払い遅延などを防止する目的で改正した建材・住宅設備産業取引ガイドラインに触れ、サッシ業界にも理解と順守を求めた。

土田浩史・製造産業局

非鉄金属リサイクルのこれから 中村崇教授の講演要旨

自国権益守る法整備必要

技術生かすシステムを

東京大学・生産技術研究所非鉄金属資源循環工学寄付研究部門の中村崇特任教授は、27日に開催された非鉄金属リサイクル全国連合会の総会後の講演会で「非鉄金属スクラップのリサイクルのこれから」をテーマに講演を行った。詳細は以下の通り。

▽非鉄金属スクラップの状況

アルミのリサイクル率は30％ほどで、その割合は数十年間ほぼ変わっていない。ほとんどはキャスティング向けで、主に自動車エンジンに使用される。エンジンがなくなれば、リサイクル率も低下する。そのためアルミ協会では使用済み展伸材をリサイクルする研究などを行い、リサイクル率を維持しようとしている。

銅は十数年前、電気銅と加工品だと加工品の方が生産量は多かった。だが、今や電気銅の方が生産量は多く、余った電気銅は輸出されている。その向け先は主に中国だ。中国は銅が唯一足りない金属資源だが、もう少しで飽和に達するとみられる。電気銅の行き場がなくなれば国内非鉄製錬も大変になるかもしれない。

鉛はバーゼル条約が改正に至った二つのモチベーションになった。問題は廃バッテリーが韓国に流れることにあった。その理由は不明だったが、韓国環境省が鉛リサイクラーの違法操業などが発表されたことで一端が明らかになった。韓国はOECD加盟国であるためこれまで輸出の際もノーチェックだったが、鉛に関しては緊急を要するため、省令の中で鉛はOECD加盟国に対してもチェックできるように定めることを進めている。

希土類は中国が90％を供給しているが資源は世界中にある。だが、プラチナ、パラジウム、ロジウムなどの白金属は本当に資源が十分になく、南アフリカとロシア、カナダの一部でしか見つかっていない。これだけは絶対にリサイクルされると断言できる。

▽バーゼル法改正について

25年ぶりに改正が議論されているバーゼル条約の対象物は特定有害廃棄物になる。有価かどうかは関係ない。だが、日本の廃掃法では対象物の規制対象が違うため、バーゼル法の対象物とは一致しない。そのためバーゼル法だけでなく、廃掃法も見直しに入っている。

現在、日本の家電リサイクル率は60％ほどしかない。40％はどこかに行ってしまっている。ご存じのように足元で中国はミックスメタルを止めている。これまで主に香港経由で入っていたが、その香港が止めてしまっている。

欧州はOECD向けでもチェックすべきものは確認し、できるものは自国内で処理するなど、しっかりと自国の権益を守っている。しかも、それを世界標準にしようとしている。

廃掃法の改定では外に出にくくし、入る方を簡単にすることが基本路線になる。だが、それを行うことは簡単ではない。事実、シップバックは増えており、2015年には香港から20件の通報があった。そのため、ただ厳しくするだけではなく、ちゃんとしているところには基準を緩くしたり、廃棄物処理法とバーゼル法の輸出における二重手続きをやめたりしようともしている。

バーゼル法改正は、これから1年かけて、細かい話を決めていくことになるだろう。また、施行25年で初めての改正であり、今後は見直しを帝にしていくことで合意している。将来的に廃掃法が全く変わってしまったら、大きく変化する可能性もある。

▽非鉄金属のリサイクル技術と回収システム現状と課題

人工資源は天然の鉱石だが、金が回収できる大きな価値がある。

リサイクルを促進するにはシステムと技術をマッチングしないといけない。どちらかと言うと先にシステムを構築し、それに合わせて技術を作ることになる。だが、その技術が条件をクリアしても、社会状況が合わないと実用化できない。

鉄、銅、アルミスクラップは日本の方がJIS で細かく規格を定めており、レベルも上だ。ただ、欧州は単純化し、集めやすくしている。考え方が違ったものにすることで、量を集めることができる。また、リサイクル工場のキャパも変わり、キャパが変われば技術も違ってくる。

欧州ではプロセスを標準化してくる。良い悪いではなく、日本と欧州では技術が違うためだ。一部の技術は日本の方が優れているが、それは通用しない。個人的にはその点を注意している。

携帯1つには金や銅が多く含まれているが、一つではサンプルでしかない。資源と呼ぶには何十万個と集めなければならない。また、資源投入時からコントロールしていかなくては難しい。非鉄リサイクル事業者は資源の投入を造りこむ側になる。そのためには量と質を一定の範囲にすることが大変重要になる。

金属スクラップの発生は関連する法律が違い、発生元も違い、集め方も違ってくる。これが日本の一番弱いところ。欧州は統一されている。日本の家電リサイクル法はできすぎていて、変えることもできず、集めるのも限界に来ている。また、回収・収集と解体・選別の間がボーダーレスになりつつある。

国内では廃電子基板の発生が増えており、現在、10万トンを超えている。廃電子基板は資源の含有量は高いが、処理が難しい。

ウェブ制作のイスタジア

スクラップ業者に特化営業

ホームページ制作や会社案内パンフレットなどの作成を手掛けるイスタジア（本社＝神戸市中央区、金井守社長）は、スクラップ業界に特化した営業を展開している。他のウェブ制作会社ではまねできない特長あるサイトで依頼者に新規顧客を呼び込み、効果（利益）を出せるようサポートするなど費用対効果の高さを追求している。

同社は、設立から今年で8年目を迎えるウェブ制作会社で、スクラップ業者のサイトをこれまで30件以上、開設した実績がある。

金井社長自身が鉄・非鉄スクラップを扱う東亜金属（本社＝神戸市中央区）の社長を兼任していることもあり、スクラップの品目や設備、リサイクルフローなどを熟知し、「顧客に合った提案をできるのが強み」（金井社長）。

一般的なウェブ制作会社は、あいさつ文や企業理念、掲載写真などを顧客が準備する必要があり、業界用語の説明などで手間と時間を費やすこととなる。さらに、多忙な経営者も多く、制作自体に二の足を踏む企業もいる。

一方、同社はスクラップ業界に精通する強みから事業に関する基本的な説明が不要で、スクラップの写真などの素材も数多く取りそろえており、制作を「お任せ」にすることも可能。顧客の負担を大幅に軽減している。

また、ホームページに掲載する写真はヘリコプターやドローンを使った空撮も含めてほぼ自社スタッフで撮影をしており、専門の撮影業者に依頼する場合に比べて費用を安価に抑えられる。実務を担当する堀川満久取締役は「顧客の要望を聞き、当社が完成形に近い雛型を作り、それをチェックしてもらう。2―3回の訪問で終わるケースが大半」と語る。

制作後は、掲載内容の追加や更新に加えて、閲覧数の上昇や検索サイトで上位に表示されるよう随時アクセス解析・検索順位対策を行うなどアフターフォローも万全。「お客様が新規顧客を獲得できるよう全力でサポートしたい」（金井社長）。

6月前半積み減摩合金販価

（単位：キロ当たり円、カッコ内は前回比）

▽1種	2785(⊕15)
▽2種	2715(⊕20)
▽2種B	2670(⊕15)
▽3種	2640(⊕20)
▽4種	2330(⊕15)
▽5種	2240(⊕15)
▽6種	1725(据え置き)
▽7種	915(⊖5)
▽8種	825(⊖5)
▽9種	735(⊖10)
▽10種	765(⊖10)
【原料購入価格】	
▽錫	2530(⊕20)
▽アンチ	1175(据え置き)
▽銅	673(⊕5)
▽鉛	297(⊖11)
▽亜鉛	338(⊖2)

錫系減摩合金上げ、鉛系下げ

フジメタル販価

フジメタル工業は31日、6月前半積み減摩合金の1キログラム当たり販価を、第1―5種で5月後半比15―20円引き上げ、第7―10種は同5―10円引き下げると発表した。第6種は据え置き。第1―6種の主成分となる錫の1キログラム当たり購入価格が5月後半比20円値上がりし、第7―10種の主成分となる鉛は同11円値下がりしたため。その他の合金原料は銅が5円値上がり、亜鉛が2円値下がりし、アンチモンは横ばいだった。

人事異動

二菱伸銅（6月1日付）

▽取締役技術部長兼技術グループ長（取締役技術部長）熊谷淳一

▽三宝製作所圧延製造部長（三宝製作所圧延製造部長兼技術部長）飯田典久

▽〃技術部長（〃技術部副部長）工藤英弥

港別のLME非鉄金属在庫

（17年5月26日現在、単位トン）

▽銅	315,200
デュバイ	0
アントワープ	50
ハンブルク	0
バルセロナ	0
ビルバオ	25
ハル	3,325
リバプール	3,375
レグホーン	0
トリエステ	0
仁川	50
光陽	16,675
釜山	83,000
ジョホール	850
クラン	22,850
ロッテルダム	46,850
プリッシンゲン	75
ヘルシングボリ	0
シンガポール	61,550
ポルティモア	0
シカゴ	7,650
モービル	25
ニューオーリンズ	26,975
セントルイス	0
高雄	41,850
米パナマ	25
ムールデイク	0
▽アルミHG	1,487,700
アントワープ	500
ブレーメン	0
ハンブルク	36,200
バルセロナ	0
ビルバオ	21,175
ハル	75
リバプール	0
タイン＆ウェア	0
ジェノア	0
レグホーン	0
トリエステ	25,550
名古屋	0
横浜	0
釜山	204,800
光陽	75,875
仁川	4,250
ジョホール	54,350
クラン	137,200
ロッテルダム	428,700
プリッシンゲン	135,600
ヘルシングボリ	7,325
シンガポール	202,875
ポルティモア	31,700
シカゴ	0
デトロイト	119,700
ロングビーチ	0
ロサンゼルス	0
モービル	0
ニューオーリンズ	450
セントルイス	0
米トレド	0
高雄	1,375
▽ニッケル	380,292
デュバイ	12,144
アントワープ	492
ブレーメン	0
ハンブルク	30
バルセロナ	0
ビルバオ	0
ハル	4,014
リバプール	480
タイン＆ウェア	0
ジェノア	0
レグホーン	0
トリエステ	0
釜山	3,456
光陽	21,936
仁川	0
ジョホール	144,060
クラン	1,110
ロッテルダム	73,566
プリッシンゲン	3,792
ムールデイク	0
ヘルシングボリ	0
シンガポール	50,712
ポルティモア	4,812
シカゴ	0
デトロイト	306
ロサンゼルス	0
モービル	0
ニューオーリンズ	0
セントルイス	0
米トレド	0
高雄	59,382
▽鉛	183,175
デュバイ	0
アントワープ	7,200
ブレーメン	0
ハンブルク	350
バルセロナ	6,625
ビルバオ	4,500
ハル	0
リバプール	0
タイン＆ウェア	0
ジェノア	0
レグホーン	5,700
トリエステ	975
釜山	40,275
仁川	0
高雄	550
ジョホール	975
クラン	31,750
ムールデイク	0
ロッテルダム	39,825
プリッシンゲン	44,450
ヘルシングボリ	0
シンガポール	0
ポルティモア	0
シカゴ	0
デトロイト	0
ロングビーチ	0
ロサンゼルス	0
モービル	0
ニューオーリンズ	0
セントルイス	0
米トレド	0
▽亜鉛	332,800
デュバイ	0
アントワープ	12,325
ハンブルク	0
ブレーメン	0
バルセロナ	0
ビルバオ	600
ハル	3,925
リバプール	75
タイン＆ウェア	0
ジェノア	0
レグホーン	0
トリエステ	0
ジョホール	5,225
クラン	3,325
ロッテルダム	8,525
プリッシンゲン	0
ヘルシングボリ	0
シンガポール	0
高雄	0
ポルティモア	0
シカゴ	0
デトロイト	0
ロングビーチ	0
ロサンゼルス	0
モービル	0
ニューオーリンズ	298,800
セントルイス	0
米トレド	0
▽錫	1,950
アントワープ	0
ハンブルク	0
バルセロナ	0
ビルバオ	0
ハル	0
リバプール	0
タイン＆ウェア	0
ジェノア	0
トリエステ	0
釜山	0
光陽	10
ジョホール	30
ポートクラン	1,235
ロッテルダム	105
プリッシンゲン	0
シンガポール	570
ポルティモア	0
ロサンゼルス	0
モービル	0
ニューオーリンズ	0
高雄	0
▽アルミ合金	13,000
アントワープ	1,900
ブレーメン	0
ハンブルク	0
バルセロナ	0
ビルバオ	0
ハル	0
リバプール	200
タイン＆ウェア	0
ジェノア	0
レグホーン	0
トリエステ	20
釜山	120
光陽	40
仁川	0
ジョホール	80
クラン	60
ロッテルダム	2,500
プリッシンゲン	60
シンガポール	8,020
高雄	0
▽北米特殊アルミ合金	147,780
ポルティモア	4,800
シカゴ	48,100
デトロイト	48,260
ロングビーチ	0
ロサンゼルス	0
モービル	3,020
ニューオーリンズ	41,820
オーエンスボロ	660
セントルイス	1,020
米トレド	100

希土類（レアアース）価格

（CIF日本、純分99％、キロ当たりドル）

	5月31日	4月平均
酸化ランタン	2.60	2.60
酸化セリウム	2.30	2.30
酸化プラセオジム	52.80	52.80
酸化ネオジム	40.80	40.80
酸化サマリウム	2.50	2.50
酸化ユウロピウム	70.50	70.50
酸化テルビウム	443.50	443.50
酸化ジスプロシウム	192.50	192.50
酸化イットリウム	4.30	4.30
金属ネオジム	52.00	52.00
金属ジスプロシウム	265.00	265.00
金属プラセオジム・ネオジム	51.00	51.00